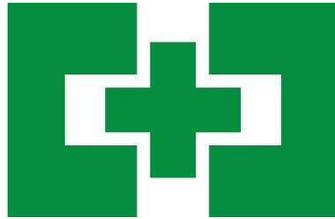


令和 2 年度  
安 全 大 会



令和 2 年 6 月 25 日

今年度の安全大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から  
資料提供のみとなりました。

 山陰クボタ水道用材株式会社

# 令和2年度 山陰クボタ水道用材株式会社 安全大会

## 1 開会の辞

### 労働災害0を目指して

常務取締役(安全管理者) 石橋 司朗

安全大会に際しまして一言ご挨拶申し上げます。

日頃は協力会社の皆様に多大なご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

社員の皆様には、目標に向かって日々尽力されていることに感謝いたします。

今現在、私たちは恵まれた時代を生かさせていただいており、おそらく、人類史上最大の豊かで便利な社会、豊富な食糧、充実した医療、ぜいたくな生活、を経験しています。そしてこの日本には自由があり、この幸せがいつまでも続くように願って生きています。私は、昭和30年に生まれ、当時は物資や仕事が少なく貧乏な生活でしたが、昭和50年くらいから高度成長期に入って、あれよあれよという間に豊かで便利な社会の中で生活をしてきました。つまり、私は貧困と豊かさの両方を経験しています。そのためか、この社会はいつか崩壊するのではないかと不安に思うことがたびたびあり、残念ですがその時が来てしまいました。この度の新型コロナウイルスは、人々の健康を脅かし、便利で豊かな社会や仕事、行動を奪い、さらに教育や経済も混乱している状況です。私達はこの状況が一日も早く収束することを願います。

さて、当社の業種は、飲料水、排水、冷暖房設備工事をはじめ、風水災害対策、作物への給水等、社会生活に必要不可欠な仕事であります。私たちは、この仕事を大切にして当社や協力会社で働く人の生活を守っていく使命を担っています。

今年度は、労働災害を起こさず、健康を維持して、1年後に「頑張った、いい1年だった」と言える年にすることを目標とします。

## 2 社長あいさつ

### コロナ禍の安全大会に想う

代表取締役社長 杉谷 雅祥

令和二年度の安全大会に当たり一言ご挨拶申し上げます。

現場で支援していただいている協力会社の方々、そして社員の皆さんには、当社の安全衛生活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年の安全大会は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、資料提供のみとさせていただきました。

世界中で猛威をふるう新型コロナウイルスを前に、これまで経験したことのない危機感や不安を感じました。便利さや経済効率を追求する現代社会の中で、その裏側に潜む「脆さ」や「危うさ」に気付かず<sup>あや</sup>にいました。改めて、大切な物、かけがえのない物について考えさせられ、家族が普通に健康であること、普通に御飯が美味しいこと、普通に仕事ができることの有難さを実感しています。

さて、当社では暫く労働災害が発生していませんでしたが、平成30年度に1件、そして令和元年度には2件発生しました。負傷された方々には、心よりお見舞い申し上げます。労働災害が2年連続で発生した事実は、重大であり深刻です。安全と健康の大切さについて一人一人が考え、行動しましょう。当社は、安全衛生管理体制の更なる充実・強化を図り、全社一丸となって無事故無災害の達成に邁進いたします。

来年の安全大会は、皆さんの元気な姿を見ながら、無事故無災害の報告を声高らかにできるよう、ご協力のほどよろしく申し上げます。

それでは「健康でご安全に」

### 3 優良工事技術者表彰



…島根県発注工事（機械設備）に於ける、

当社での過去最高84点!

	設 備 部	高倉 勝弘	島根県営住宅（（仮称）松江市大輪団地） 建設（空気調和設備）工事
	設 備 部	坂本 真子	島根県営住宅（（仮称）松江市大輪団地） 建設（空気調和設備）工事
	設 備 部	門脇 崇之	清嵐荘整備事業 国民宿舎清嵐荘建設工事（機械設備）
	松江工事事部	川見 光徳	H31年度 市道嫁島公園線 配水管布設替工事
	設 備 部	石橋 秀則	松江市立湖南中学校 空調整備（機械設備）工事
	設 備 部	佐々木一彰	松江市立第一中学校 空調整備（機械設備）工事
	大田営業所	中祖 邦彦	三瓶自然館ビジターセンター 機能強化（機械設備）工事
	松江工事事部	角 史香	原代浄水場膜ろ過整備工事
	出雲営業所	今岡 宏孝	西園町リバーサイドタウン南 配水管布設替工事
	出雲営業所	手銭 和人	多伎町口田儀港東配水管布設替工事
	出雲営業所	古島 晃	除鉄除マン第2期整備事業機械設備工事
	出雲営業所	来間 勇治	浜町浜ポンプ場ポンプ設備更新工事
	出雲営業所	烏谷 俊彦	佐田町毛津氏子会館南配水管布設替工事
	江津営業所	五十川 巧	令和元年度 市道先折居住宅線外配水管支障移転工事

## 令和2年度 優良工事技術者表彰式

◆ 6月18日、本社2F大会議室にて7名の技術者が表彰されました。



左から 設備部：石橋秀則さん、佐々木一彰さん、高倉勝弘さん、  
門脇崇之さん、坂本真子さん 松江工事部：角史香さん



松江工事部：川見光徳さん

◆ 6月19日、出雲営業所にて5名の技術者が表彰されました。



左から 来間勇治さん、鳥谷俊彦さん、古島晃さん、手銭和人さん



今岡宏孝さん

◆ 6月19日、大田営業所にて1名、江津営業所にて1名の技術者が表彰されました。



大田営業所：中祖邦彦さん



江津営業所：五十川巧さん

## 4 事故防止講話

### 交通事故・労災事故の防止を目指して

元出雲警察署長 川上 穂  
(弊社相談役)

初めまして、川上と申します。当社とご縁がございまして非常勤相談役として籍を置かせていただいておりますが、この度、当社の安全大会におきまして交通事故・労災事故防止についてお話をさせていただく機会をいただきました。皆様にこのテーマについてお話しすることは釈迦に説法かと存じますが、私の経験から思うところを述べさせていただきますのでよろしくお願いたします。

今日、新型コロナウイルスが世界に広がり、日本国内においても都市部・地方の区別なく感染が蔓延し、多くの国民の命を奪っております。新型コロナウイルスに勝つワクチンの開発が進んでいますが、一日でも早く出来ることを願っています。

ところで、ご案内のように、会社業務を推進する上で交通事故や労災事故の防止対策は、欠かすことの出来ない重要な課題です。このような事故の発生は、社会的信用を始め人的な損失を受けることとなりその影響は図り知れません。このため、しっかりした取組が求められます。

私の経験からも交通事故を含め各種事故のゼロという成果はなかなか達成できませんでしたが、事故防止には粘り強く、継続的に推進することが肝要です。皆様の幸せのために事故ゼロを目標に頑張りましょう。

とりわけ事故防止で大切なことは、会社のルール、各種法令など基本的なことを遵守することにあります。自ら進んできまりを守る社風はその実現を図ります。そのために、職場内の上下左右のコミュニケーションを図っていくこともその原動力となる一方法です。

さて、前置きはこれくらいにしまして、県下の交通事故の概況を警察の公開資料により、かいつまんでお話しします。

今年3月末の統計ですが、県下の交通事故件数は、183件(人身事故)で前年同期より17件減少しています。また、事故の特徴は、その原因別では安全不確認(前方不注意、動静不注意、安全不確認)が全体の56.3%を占めています。運転の際には注意をしていただきたいと思います。

次に、安管事業所所属運転者の交通事故を見てみますと、県下で18件の発生とかなり低く安全運転がなされているものと評価できます。

特筆する点に、飲酒がらみの交通事故が依然として5件も発生しています。

飲酒運転による事故は、大きな社会問題を発生させてきました。皆様にも悲惨な事故の記憶があろうかと存じますが、飲酒運転は絶対にしてはいけません。すれば職を失うだけでなく、取り返しのつかないこととなります。「飲んだら乗るな」を肝に銘じて下さい。

そこで、安全運転の基本は、ルールを守る運転にあります。交通ルールを守って安全運転に努めて下さい。

そのためにも、安全運転の励行の唱和、さらには社員間での「スピードを出すな」「一時停止せよ」などの声掛けがその意識を高めることにもなり安全運転の行動になります。

安全運転は、本人・家族などみんなに幸せをもたらしてくれます。

お知らせです。道路交通法が改正されています。既にご承知と思いますが、昨年12月に「運転中の携帯電話使用等の違反」について罰則が強化されています。運転中の携帯電話は交通事故に繋がります。絶対にしないで下さい。

次に、島根労働局の公開資料による交通労働災害発生状況です。

今年の1月から4月までの間に、県下で173件の労働災害が発生し、そのうち産業別では建設業が27件の発生となっています。このような現状にありますので危機意識を持っていただき、事故抑止のための対策をしっかりとする必要があります。

皆さん。 仕事に「危ない」とか「ヒヤリ」とするようなことを経験されたことはありませんか。 こうした出来事に対策をとり事故防止に生かす手立てがあるのです。

ご承知かと思いますが、「ハインリッヒの法則」なのです。 この法則は、アメリカの損害保険会社で技術・調査に携わっていたハインリッヒ氏が提唱したもので、「一つの重大事故の背後には29の中小規模の事故(インシデント)があって、その背後には300のヒヤリ・ハットがある」というものです。

つまり、事故の発生には必ず前兆事案(ヒヤリ・ハット)があり、これを軽視せず、対策をとれば事故の未然防止になるものでこのヒヤリ・ハットを減らすことが重要です。

労災事故が発生しますと、重ねて申しますが、社会的にも人的にも多大な損失を受けることになります。信頼と信用を取り戻すには大きな労力と時間を要することになります。

このことを肝に銘じておかなければいけません。

くどいようですが、仕事にアクシデントやニアミスが発生した場合には、些細なことでもこれを軽視せず、是非、法則を参考に何故起きたのか検証と対策を行うことで少しでも事故防止に貢献できるものと思います。

「蟻の穴から堤も崩れる」という格言がありますように、小さな事故にしても突然起こるものではありません。小さな事を放置してはいけません。労災事故の防止は、他人が行うものではなく、個々人が真剣に考え、問題意識を持って取り組めば必ず成果となるはずで。私の経験からも、事故が発生しますと職場が暗くなり重い空気に包まれ士気の低下もきたします。悪いことに、事故の連鎖反応が起こる場合もあり、踏んだり蹴つたりのこともありました。明るい職場、活気のある職場は、事故を抑えることに寄与してくれます。

心を引き締め、仕事は楽しく頑張ってください。事故ゼロを願っております。

終わりに、今日、新型コロナの影響で何かと厳しい状況にあるものと存じますが、皆様のご健勝を心から祈っております。頑張ってください。応援しています。

以上

## 5 安全スローガン入賞者

執行役員資材営業部長 安達 勉

米子営業所相談役 笹間 弘幸

## 6 安全宣言

私たちは、本日の安全大会の趣旨を十分に認識し、社員一人一人が安全への意識を高め、災害防止活動を更に向上させ労働安全衛生法令を遵守すること、また安全な職場づくりを目指すよう全員が一致団結し労働災害の絶滅に向かって邁進することを、ここに宣言します。



令和2年度 安全衛生スローガン

「まず確認 正しい手順で事故防止 みんなで目指そう安全職場」

「元気な挨拶 つながる絆 みんなでつくろう健康職場」

令和2年6月25日

従業員代表 設備部 木下 正祥  
資材営業部 野津 遥哉

## 7 閉会の辞

### 安全大会によせて

常務取締役(安全推進委員会議長) 和田 芳郎

今年度の安全大会は新型コロナウイルス肺炎の発生に伴い、環境省・厚生労働省の指導の下3密を避けるとして協力業社の方々や弊社社員の参加の無い大会となりました。

昨年は労働災害0を目指しましたが、残念ながら2件の災害が発生してしまいました。これらは、転落防止対策として危険個所のバリケードの設置、昇降設備の点検等により避けられた事故と安全衛生委員会で報告がありました。又、これら以外にヒヤリハット事例報告があり、ハインリッヒの法則「1:29:300」によれば $2 \times 29 = 58$ の軽傷事故、 $2 \times 300 = 600$ のヒヤリハットが発生する可能性があります。

さて、今年度は、昨年までの安全対策に新型コロナウイルス対策という厄介なことが加わりました。これは、地域経済や家庭生活にも大きな影響があるかもしれません。しかし、何より大事な健康で安全な職場(生活)を守るため協力業社の方々・弊社社員皆で「労働災害0を目ざして」一致団結頑張りましょう。

最後に、来年の安全大会に「事故なかったネ」と笑って互いの顔を見られるような1年にしましょう。

では「健康でご安全に」